

平成27年4月24日

平成27年度病害虫防除技術情報（第2号）

和歌山県農作物病害虫防除所

タマネギベと病の発生状況について

1. 調査地域：県北部（岩出市、紀の川市、かつらぎ町）
2. 調査時期：4月中～下旬
3. 調査結果
 - 1) 県北部36ほ場におけるタマネギベと病の発生ほ場率は38.9%（前年33.3%、平年23.7%）とやや高い。また、発病株率は3.4%（前年1.2%、平年1.1%）であり、発生ほ場における発病株率は8.7%（前年3.7%、平年1.4%）といずれも高い（表1）。
 - 2) 過去5年は中発生（発病株率21～40%）以上のほ場は認められなかったが、本年は中発生ほ場が2地点で確認された（表2）。
4. 発生予想
 - 1) 大阪管区気象台の近畿地方1か月予報（4月18日から5月17日までの天候見通し）によると、向こう1か月の平均気温は平年並の確率50%、降水量は近畿太平洋側で平年並または多い確率ともに40%である。4月～5月の平均気温は15～20℃前後と発病好適条件であり、曇雨天が続くと病害の発生拡大が懸念される。

表1. 県北部におけるタマネギベと病の発生状況（4月中～下旬）

発生状況	平成27年	平成26年	平年
発病ほ場率（%）	38.9	33.3	23.7
発病株率（%）	3.4	1.2	1.1
発生ほ場における発病株率（%）	8.7	3.7	1.4

※岩出市、紀の川市、かつらぎ町の計36ほ場について調査

表2. 県北部におけるタマネギベと病の発生程度別ほ場数（4月中～下旬）

発病程度（発病株率）	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年
甚（71%以上）	0	0	0	0	0	0
多（41～70%）	0	0	0	0	0	0
中（21～40%）	0	0	0	0	0	2
少（1～20%）	11	8	4	15	12	12
無（0%）	25	27	27	20	24	22
計	36	35	31	35	36	36

5. 防除上の注意事項

- 1) ほ場の排水につとめる。
- 2) 7～10日間隔で予防散布を行う。
- 3) ほ場をこまめに見回り、発生を確認した場合は直ちに系統の異なる薬剤で追加防除を実施する。
- 4) 農薬については、最新の登録情報 (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm 農林水産消費安全技術センターHP農薬登録情報提供システム) を参照し、適正に使用する。

担当：農作物病虫害防除所
岡本晃久、大谷
電話：0736-64-2300